

令和6年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[9] 情報データ科学の世界II (デジタル技術の活用)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	新学部設置準備室 教授 藤原 克哉 (計4名)
授業概要	人を中心とする社会を構築するためには、様々なデジタル技術を活用する必要があります。本講座では、人間情報、ロボティクス、防災・エネルギー情報、ソーシャルデータで活用した研究等を紹介します。		
授業方針	スライドと配布プリントにより講義します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部5号館1階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jim.u.ac.jp		

授 業 計 画

**【募集定員人数: 50名】 先着順で募集を締め切ります**

第1講: 「デジタル社会を支えるソフトウェア技術」 教授 藤原 克哉

<10月26日(土) 9:30~11:00>

DXの推進やAIの活用からプログラミング教育の必修化まで、コンピュータとソフトウェアが実現する新しい社会のあり方に注目が集まっています。デジタル社会を支えるソフトウェア・IoT技術を紹介します。

第2講: 「健康寿命を支えるロボティクス」 教授 巖見 武裕

<10月26日(土) 11:10~12:40>

授業では、医療・福祉分野のロボットや機器開発の研究を紹介します。また、コンピュータ上に人体の詳細なシミュレーションモデルを作ることにより、筋力や身体への負荷が分かり、機器開発や適切な運動療法(リハビリ)の指針となることを紹介します。

第3講: 「データが紡ぐ未来の地震防災」 教授 水田 敏彦

<10月26日(土) 13:20~14:50>

地震が多く人口減少も進むわが国では、防災・減災に向けて様々なアプローチが検討されていますが、その一つとしてデータの活用があります。本講座では、事前の地震発生予測、被害予測、発生後の被害状況把握について、地震防災に役立てるための多種多様なデータの活用方法を紹介します。

第4講: 「情報ビジネスと地域活性化」 教授 臼木 智昭

<10月26日(土) 15:00~16:30>

地方が抱える様々な課題を解決するためには、ICT(情報通信技術)やデジタル技術の積極的な活用が求められています。具体的な事例を交えながら、情報ビジネスの展望や地域活性化との関係を紹介します。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	